

人財育成室方針

室長 小谷 茂

戦後から推進された教育改革やグローバル化が続く中、日本人が古来より承継されてきた世界に矜持すべき精神が希薄になり、利己主義や刹那主義が蔓延しています。それは現代だけの問題ではありません。希望に満ちた未来の上越を創造するためにも日本人としての気高き精神性の次世代への承継は必須です。そのためにまず我々が希望ある未来のために主体的・積極的に行動できる人財となり、共に未来を歩む多くの同志の育成が肝要です。

当室では、リーダーたる人財を育む委員会と子供の心を育む委員会があります。そして人財育成と徳育は密接な関係にあります。子供の心を育むためには、子供を取り巻く大人。すなわち最も身近な大人である親、学校での教師、子供に関わる地域の大人のすべてが子供の規範となるべき姿を見せ伝えていくことが大切です。昔から『子は親の背中を見て育つ』という言葉があります。もし、子供が挨拶できないのであれば。もし、子供が感謝を人に伝えられないのであれば。それはその子供の周囲の大人が自分自身の行動を通じて子供に姿を示していないからに相違ありません。またそれは子供の教育だけではなく、実社会における社会人としての人財を育成するうえでも同じことと言えます。良き上司、良き指導者とはどのような人物であるのか。その人物が目標に向かって努力を惜しまず果敢に挑み、未来への希望を互いに語り、志を持って邁進するその姿に我々は夢を抱き、惹かれるのではないのでしょうか。人は人から学び、成長していきます。地域の規範となる姿を JAYCEE として地域に示すことで、より多くの負託と信頼を得ることにつながります。

まちの未来を描き創るのは人です。先人たちが自己犠牲を顧みず築き上げてくれたからこそ、我々の今があります。その未来に託する祈りを責任世代である我々が受け止め、一歩ずつ歩む道が次世代への軌跡となり、希望に満ちた上越の未来へつながると確信します。

【運営方針】

1. 会員拡大 25 名必達の目標に向けて委員会への支援を行い、実現へとつなげます。
2. 各委員会事業計画を確固たる信念のもとに策定し、委員会メンバー一丸となって事業を構築させ、実行へとつなげます。
3. 市民の琴線に触れる事業を実施し、地域における J C 運動の価値を高めます。
4. メンバーの資質を運動・事業を通じて成長へとつなげ、組織をより盤石にします